

平成23年度事業計画(案)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

会員企業各社とともに「港町ヨコハマ」が引き続きさらなる振興・発展をとげるよう、当協会も事業を推進してまいります。

平成23年度の事業展開は、以下のとおりですが、事業執行に際しては、関係団体及び関係官公庁との調整を図りながら、より効率的、効果的な事業推進に努めてまいります。

1 会議等の開催

(1) 理事会・総会の開催

第167回理事会及び第60回通常総会を、平成23年5月に開催いたします。平成24年3月下旬には、次年度の事業計画及び予算審議を行う理事会を開催いたします。

(2) 会員交流会の開催

会員相互の交流を深める場として、「会員交流会」を開催いたします。

2 港湾関係道路網の整備促進活動の推進

港湾物流効率化に不可欠な横浜環状道路の早期整備等の道路整備促進要望を、横浜市幹線道路網建設促進協議会の構成団体として引き続き行ってまいります。

3 船舶・貨物誘致活動の推進

(1) 国内外の客船等へ歓迎行事を実施

(2) 初入港の貨物船等へ横浜港シンボルマーク入り楯とマグカップを贈呈

4 市民と港を結ぶ事業の推進

(1) 実行委員会の事務局として実施する事業

ア 第28回横浜港カッターレースの開催

初夏の風物詩として定着している横浜港カッターレースを5月22日(日)に山下公園前面海域で開催します。また、小学生特別カッターレースも同日開催を予定しております。

イ 優良海事関係者表彰式

横浜港において永年にわたり精励勤務された海事関係者の方々の功績をたたえ、表彰を行います。7月に開催を予定しております。

ウ 港内見学会

夏休みに観光船を利用し、市民を対象とした横浜港内施設等の見学会を開催いたします。

エ 港湾施設見学会

通常、市民の立ち入りができない港湾施設の見学を、ターミナル運営事業者の協力を得て実施します。

(2) 子どもたちと港を語る事業

子どもたちが港を知り、理解を深め、身近なものにするため、港で働く船長やパイロットの方などに講師をお願いし、市内中学校で港や船、海について講演や職業講話等を行います。

5 横浜港の広報宣伝活動の推進

(1) 各種刊行物の発行

広報誌「よこはま港」、「横浜港便覧」、「PORT OF YOKOHAMA」等を発行します。

(2) ポータルサイト運営及び「横浜港 e 名鑑」の更新

(3) メールマガジンの発行

メールマガジンを毎月 1 回発行し、横浜港の P R に努めます。

(4) ポートガイドの推進

港を熟知したポートガイドの活用による広報活動を推進します。

6 横浜港振興協会 賛助会員制度の創設

広く市民の方々に横浜港を知ってもらうため、横浜港振興協会 賛助会員制度を創設します。

7 記念品等の製作・販売

横浜港シンボルマーク入り記念品等の製作、販売のほか、横浜港関連グッズ、刊行物の販売を行ってまいります。また、新商品の開発など取扱商品の充実を図るとともに、販路の拡大を行ってまいります。

8 横浜港の施設における受託事業等

横浜八景島、大さん橋国際客船ターミナル、みなとみらいさん橋において、以下の事業を実施します。

(1) 横浜八景島

ア 八景島駐車場の運営事業（自主事業）

イ 八景島マリーナの運営事業（受託事業）

ウ 指定管理業務の一部業務を実施（受託事業）

(2) 大さん橋国際客船ターミナルにおけるインフォメーション業務（受託事業）

(3) みなとみらいさん橋及び同付属旅客施設の運營業務（受託事業）

9 専門部会の設置

今後の協会の方向性を検討するため、新たな専門部会を設置し、以下の具体的検討を行ってまいります。

(1) 今後の協会のあり方について

(2) 公益法人制度改革に対する取組について

公益法人制度改革に伴う、平成 25 年度の一般社団法人（非営利型）移行への具体的検討を始めます。